

CSE girls

Computer Science and Engineering

コンピュータ理工学部(Computer Science and Engineering)在籍の女子学生で結成する有志団体。「リケジョ」のパワーでコンピュータ理工学部の活性化をめざします。

はじめに、CSE girlsの活動内容を紹介して下さい。

山口さん:京都産業大学のコンピュータ理工学部在籍する女子学生で結成する有志団体で、現在17名のメンバーで活動しています。「リケジョ」のパワーでコンピュータ理工学部の活性化をめざしています。

また、Boysメンバーにも参加してもらい、活動の幅を広げる試みを行っています。

具体的な活動内容を教えてください。

山口さん:広報班、イベント班を設けて活動しています。イベント班はさらに学内・学外対象の2つのグループに分かれています。2週間に1回運営会議を開催し、リーダーはこれら3グループを統括しています。

広報班はホームページやTwitterを利用して情報発信を行っています。イベント班は、新入生の学びを支援する企画や、オープンキャンパスでのリケジョ相談会等の実施、大学祭「神山祭」での活動紹介の他、地域の方々との交流も行っています。

メンバーには大学院生も入っているのですか。

山口さん:3名の大学院生がいます。私を含め3人も学部時代からの継続メンバーです。

大学院への進学を決めたのはいつ頃ですか?進学を決めたきっかけを教えてください。

山口さん:3回生までは学部卒業後は就職希望でした。4回

生になってインターンシップに行った先で、他大学から参加した人と一緒にITアプリの作成に関わり、もっと勉強したいと考えたことが進学の決め手になりました。また、学部生時代から学会発表を奨励するなど、ゼミの教授からの大学院進学への勧めも大きかったです。

どのような研究を行っているのですか?

山口さん:Webサイトの検索履歴をもとに、操作者の情報を類推し、有効なWeb広告を表示するシステムの分析です。例えば子ども服の販売サイトを見ている方は、料理やアウトドア商品などにも興味を持つのではないかと、本人が気づいていないかもしれない興味を類推して、Web広告を配信する機能です。企業との共同研究なので、実データを検証しやすさも魅力的です。

植田さん:私たちは各社が提供するポータルサイトによって、インターネットという便利なツールを無料で利用できること引き換えに、自分のWeb検索履歴をビッグデータの一部として提供している訳です。何だか怖い気もしますが、多くの人がネット販売をクレジット決済で利用している現状を見ると、個人情報保護と利便性のバランスが重要なのだと思います。

植田さんは、唯一のBoysメンバーとのことですが、CSE girlsの活動に参加することになったきっかけを教えてください。

植田さん:Webサイト製作の企画が持ち上がった時に、Girlsメンバーだけでは、構築が難しいと聞き、協力したことが活動

Interview
with
CSE girl



第3代リーダー
山口 由莉子
(博士前期課程M1)



第2代リーダー
岩崎 あかり
(学部4年次生)



Boysメンバー
植田 哲士
(学部2年次生)

参加へのきっかけです。Boysメンバーが一人であるかどうかに関係なく、自分のスキルを役立てることができるのがやりがいになっています。

まさにエンジニアですね。Webサイト構築以外にもどのようなことをしているのですか。

植田さん:ゲームのサーバーマネージャーを対話形式で構築するGUIシステムを開発しました。また、所属サークルでは、スマホ向けのアプリなども開発しています。

山口さん:学部時代に私も同じサークルに入っていました。企業からの委託でアプリを開発することもあります。

大学では学部やサークルの活動もありますが、CSE girlsがあっけよかった、入ってよかったですと思うことを教えてください。

岩崎さん:もともと女子学生の少ない学部なので、女子だけの集まりがあっけよかったです。また他学年の女子学生とのつながりができたことも大きな財産です。

山口さん:大学が女子学生主体の活動を支援し、活躍の場を提供してくれていることも励みになっています。

卒業後はどのような進路を考えていますか。

岩崎さん:IT系ではなく、事務の仕事に就きますが、どこに行ってもITの知識は必要だと思うので、これまでの学びを役立てていきたいです。またCSE girlsで培った上下関係の繋がりを保つコツを職場でも実践していきたいです。

植田さん:クリエイターとして働きたいと考えています。そのためにもっと専門的な知識を得ることが必要だと感じたら大学院進学も考えます。

山口さん:研究によって得られた検証結果は、そのままでは実社会に活用できませんが、今後は研究成果を社会に還元できるような仕事をしたいと思っています。

仕事は続けていきたいですか?

山口さん:インターン先の企業では、男女ともに在宅勤務をされている方が多くいらっしゃいました。IT業界は、柔軟な働き方が実践されている分野なので、子育て中は在宅勤務等をうまく活用して仕事と家庭を両立させていきたいと思っています。

社会では女性リーダーの育成が求められていますが、CSE girlsでリーダーをされた経験から得られたものは何でしょうか。

岩崎さん:メンバー時代は自分の参画しているプロジェクトのことしか見えなかったのですが、リーダーになると全体の進捗を見る必要もでき、運営に関わっているという実感を持つことができました。

山口さん:リーダーになると、グループ間、メンバー間の調整役をすることにもなり、大変だと思うこともありますが、これらの経験はリーダーだからこそできるもので、きっと将来の役に立つと思います。

